

# 「つくるべき時が来た」

## 清算会員、非会員の区分が課題

FIA(米国の先物業協会)日本支部は、6月17日、東京穀物商品取引所の2階ホールで、「討論 クリアリングハウス」と題するセミナーを開催した。商品取引員を中心に約150名が参加、超満員になった。討論パネルには農林水産省総合食料局の田辺義貴商品取引監理官、経済産業省商務情報政策局の横尾英博商務課長などが出席、クリアリングハウス(以下C.H.)創設について積極的に議論した。

セミナーはまず、ミッチ・R・フルシャー日本支部会長が「日米取引所比較によるC.H.機能の分析と提言」報告書について説明した。提言は次の4項目からなっている。①C.H.による取引保証②C.H.の保証制度を支える資本金の補強③非清算会員カテゴリーの導入④監査とコンプライアンスの向上。

引分から採用した新清算制度について説明、「インハウス型クリアリングハウス」と明示して、その背景と仕組みを解説した。パネル討論では、先物協会の秋田治常務理事は、委託手数料の完全自由化に備えて業界のあるべき姿を描いた「短中期ビジョン」でC.H.を取り上げた理由とその後の取り組みを説明した。

続いて東京工業品取引所の田邊道隆専務理事が、C.H.は30年以上前から議論されている。どういう形で実現していくかが課題だ、国際化の視点からC.H.は大切な、国際化とは縁のない市場もあるし、清算会員のレベルと日本の現実のギャップも大きい。こうした点を考えながら進む。



討論のパネリストの顔ぶれ

### ◆新社長◆

新日本商品は6月13日、

新日本商品は6月13日、大山和夫副社長の社長昇格を決めた。島津嘉弘社長は代表取締役会長に。

大山和夫(おおよま) 3年生まれ。ずみ)194



62年、岡村入社、66年富士商品入社、69年新日本商品入社、78年取締役。

資本金は微増。営業所数も551カ所と5%ほど減っているが、最近では減少ピッチが落ちており、リストラも一巡している。

小笠原常務が昇格。光陽ファイナンス・インシュアランス・グループは6月24日、任期満了に伴う役員改選を行い、村上弘社長が顧問に退き、後任に小笠原昭夫常務が昇格する人事を決めた。小笠原昭夫(おがさわら あきお)72年、あきお)72年、協栄物産入社、小島商事を経て、1980年ミリオント貿易(現光陽ファイナンス・インシュアランス・グループ)に入り、97年取締役、01年大分県出身。



80年、ミリオント貿易(現光陽ファイナンス・インシュアランス・グループ)に入り、97年取締役、01年大分県出身。

6月常務、53歳、青森県出身。共和トラスとは小林洋行の山下専務。小林洋行は6月27日、全額出資子会社の共和トラスの社長に山下英樹専務が同日付で就任したと発表した。山下氏は小林洋行の取締役も兼任する。山下英樹(やました ひでき)79年、慶大経卒。79年小林洋行入社、取締役、常務を経て02年から専務。47歳。



山下英樹(やました ひでき)79年、慶大経卒。79年小林洋行入社、取締役、常務を経て02年から専務。47歳。

元東京工業品取引所専務理事で、大東紡織社長だった有賀要之助氏が6月12日、脳内出血のため死去した。享年84歳。告別式は17日新宿区上落合の落合斎場で行われ、有賀氏は昭和52年6月東京繊維商品取引所顧問に就任、同53年5月専務理事に就任、その後、東京繊維商品取引所が合併して東京工業品取引所になった後も引き続き専務理事を務め、平成2年5月退任した。



有賀要之助(ありが よしすけ)氏。6月12日、脳内出血のため死去した。

展で外の資金の取り合いが始まる。外からみても分かりやすい制度、すなわちC.H.が基本的なインフラとして欠かれない。C.H.には資産要件の流動化、監査、監視制度の充実が求められる。インハウス型かアウトハウス型かは難しい問題だ。会員の線引きについては、清算と取引の執行などを分けて考え、経営の選択肢があってもよいのでは」と主張した。最後に演田専務理事は、会員区分が、1軍、2軍分けみたいになつては駄目で、「業界が成り立たないと意

「入や萬成証券」に社名変更。萬成プライムキャピタル証券は7月1日付で「入や萬成証券」に社名変更した。新社名は、1993年に営業権を譲渡された「入や商店」(当時豊橋乾蘭取引所の取引員の屋号にちなんだもの)。

月6日(8日)で、女子ハンマー投げに出場したグローバリーの綾真澄選手が優勝した。これにより綾選手は8月にパリで開催される世界陸上選手権大会の日本代表が正式に決定した。



(写真提供: 陸上競技マガジン)

## 収益は大幅に向上

### 会員数、建玉は減る

#### 【経営指標】

純資産は急増

会社数、人員は減

(社)商品取引受託債務補償基金協会は平成14年度の商品取引員の経営についてまとめた。それによると、同協会の会員数は95社で、前年度末より3社減。商品取引員数は大型化、グループ化が進み、一貫して減少している。また、役員、登録外務員もわずかながら減少した。

半面、委託者数、預り委託証奨金はそれぞれ2%増加した。委託者は11万人台を固めている。預り委託証奨金は4,873億円と5,000億円台の大幅回復まであと一歩。建玉数は大きく減少した。特に、委託玉は3,829万枚と12%の減少。売買高の増加を併せて考えると、委託者の売買回転率が高まっていることを示している。

指標すべて好転。出来高、最高を更新。総取引高は2億4,517万枚と前年度より10%もの大幅増。特に自己取引高が9,662万枚と16%も増え、最高を更新している。

| 経営調査 平成14年度(全会員) |             |             |       |  |
|------------------|-------------|-------------|-------|--|
| 主要経営指標           | 15年3月       | 14年3月       | 比較(%) |  |
| 会員数              | 95          | 98          | 97    |  |
| 役員総数             | 20,128      | 20,262      | 99    |  |
| 登録外務員数           | 14,061      | 14,065      | 100   |  |
| 委託者数             | 114,744     | 112,249     | 102   |  |
| 預り委託証奨金          | 487,339     | 475,783     | 102   |  |
| 総建玉数             | 4,835,427   | 5,452,095   | 89    |  |
| 委託建玉数            | 3,828,852   | 4,474,245   | 88    |  |
| 自己建玉数            | 906,575     | 977,850     | 93    |  |
| 純資産額             | 379,763     | 336,038     | 113   |  |
| 資本金額             | 77,715      | 77,307      | 101   |  |
| 営業所数             | 551         | 576         | 95    |  |
| 損益関係指標           | 14年度        | 13年度        | 比較(%) |  |
| 総取引高             | 245,169,456 | 222,808,266 | 110   |  |
| 委託取引高            | 148,549,175 | 140,213,589 | 106   |  |
| 自己取引高            | 96,620,281  | 82,594,677  | 116   |  |
| 經常収益             | 382,653     | 357,445     | 107   |  |
| 手数料              | 335,583     | 318,789     | 105   |  |
| 取引損益             | 28,091      | 13,313      | 211   |  |
| 經常費用             | 309,202     | 308,706     | 100   |  |
| 經常収支             | 73,450      | 48,739      | 150   |  |